「志高く 未来を切り拓く」立川中学校だより NO18 R7.1.31(金)



風立ちぬ

文責:田澤 明広



1月28日(火)に第2回生徒総会が行われました。令和6年度の取り組みを振り返り、よりよい学校生活を目指していくつかの要望が出されました。2年生の新執行部がそれらを引き継いで、さらに立川中が発展するという期待がもてた総会となりました。

今年度も落ち着きがあり安定した学校生活を送ることができましたが、それが実現できた要素のひとつは生徒会活動・委員会活動です。生徒会スローガン「多彩」、重点項目「挨拶・笑顔」「自分から行動」「個人の尊重」「助け合いながら





成長」を実現しようと、いろいろな活動を企画してくれ、 落ち着きのある生活の中にも活気あふれる立川中になり ました。

また、校則を自分たちで見直す第一歩として、立中ディスカッションを行い、校則(きまり)はなぜあるのか、学校生活をよりよくするために改善できる校則は何かを話し合いました。自分たちで校則を見直して自分たちで守っていく「自治的」な立川中に発展させていくことを大いに期待しています。

☆底向町花き振興会機からいただき寄した☆

庄内町花き振興会は、「世界一品質の高い花作り」を掲げ、ストック、トルコキキョウ、スプレー菊など多くの花の生産に取り組んでいます。約100名のメンバーがおられるそうですが、目標を達成するためにそれぞれ研鑽し、競い合いながら世界一を目指しているそうです。今回はストックをメインにアレジメントを作製してくださいました。ストックの花言葉は、「永遠の美」「豊かな愛」だそうです。宇宙の窓に飾っており、登下校時に生徒たちの心を豊かにしてくれています。



☆園川中の連続像化に向けて☆

こども園・小学校・中学校の連携に向けた会議が先日行われました。 来年度も園小中が連携しながら最長15年間の一貫性をもった支援を 行い、学校目標にある「未来を切り拓く力」を育成していきます。

右記の3つの柱に取り組みますので、生徒のみなさん、保護者や地域の皆さまにもお知らせします。

学習面:話し合い活動の活発化

生活面:立川しぐさを身につける

健康面:メディアコントロール

~立川しぐさ~

・にっこり挨拶: 挨拶はコミュニケーションの第一歩。そこに"にっこり笑顔"を加え、和やかに。

・思いやり廊下:狭い廊下ですれ違う時、相手を気遣い右側を通ったり肩を傾ける。ぶつからないよ

うに廊下を走らない。

あったか言葉:厳しい言葉で相手を攻撃するよりも、相手の良さに目を向け生活を豊かに。

小学校では以前から実践していましたので、立川中生の皆さんにとっては身近なものだったと思います。「江戸しぐさ」からヒントを得て、立川に生きる私たちも、公の場での言動を見直し意識しようというものです。

「江戸しぐさ」は、人口100万人の大都市であった江戸の町方のリーダーたちが互いに気持ちよく 生活するために築き上げた、人づき合いの心構えを形にしたものです。他の人と共存する上で素敵な生 き方です。

■【江戸しぐさの例】(フリー百科事典 ウィキペディアより)

『傘 か し げ:雨の日に、互いの傘を外側に向け、ぬれないようにすれ違うこと。

『肩 引 き:道を歩いて、人とすれ違うとき、左肩を路肩に寄せて歩くこと。

うかつあやまり:例えば、相手に自分の足が踏まれたとき「すみません、こちらがうかつでした」と自

分が謝ることで、その場の雰囲気を保つこと。

七 三 の 道: 道の真ん中を歩くのではなく、自分が歩くのは道の3割にして、残りの7割は緊急時

などに備え、他の人の為にあけておくこと。

こぶし腰浮かせ:乗合船などで後から来る人のために、こぶし一つ分腰を浮かせて席を作ること。

■逆らいしぐさ:野暮な「喫煙禁止」などの張り紙がなくても、非喫煙者が同席する場では喫煙をしない。

◆立川中ホームページもご覧ください◆

- URL https://www.town.shonai.lg.jp/tachichu/
- ・右の2次元バーコードを読み込んでもアクセスできます。

